

## 平成31年度 小諸野岸幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

### 園の教育目標

- (1) 明るく元気に遊べる子ども (2) 身近な自然に興味を持ち、自らかかわれる子ども  
 (3) 豊かな感性を身につけ、自分の気持ちを表現できる子ども (4) 自分から挨拶し、人とかかわれる子ども

### 1. 本年度の重点目標

- 「あそび」… いろいろな遊びを知り、人とかかわりながら夢中になって遊ぶ。  
 「しぜん」… 自然に対する感性を高める。ふしぎ・発見・調べ活動、話し合い活動。  
 「おはなしの日」… 聞く姿勢、集中して聞く。本に対する興味関心。感じたことを発表・表現する。  
 「あいさつ」… あいさつ集会で場に合ったあいさつを知る。大きな声で元気にあいさつし合う。

### 2. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	B
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

### 3. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- (1) どの学年も、子どもたちが落ち着いている。先生方の話をよく聞いている。すれ違いの年少さんがあいさつをしてくれた。アンケートにあるように、子どもたちの成長が感じられる。  
 (2) 年長のホームルームは子どもたちが進行していてすごい。先生方の配慮が自主性につながっている。  
 (3) 自由制作ものびのびしていて、先生方の支援やサポートがすごい。子どもたちの発想を大事にして自ら考えできるようになるような声がけをしている。  
 (4) アンケートのごくわずかなC、Dの回答の保護者や子どもの思いを見極め、これからは生かしたい。  
 (5) 5月～7月の行事の多さ、先生方の休日の多忙さについては、改善してほしい。

### 4. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- (1) 子どもの主体性を高めるカリキュラムや保育者のかかわり方をさらに研究していく。  
 (2) 「のぎ友パーク」は継続し、子育て支援ニーズの把握や園児募集のために活かしていく。  
 (3) 公開の内容、PTA役員による入園相談は、成果が上がっているので継続していく。  
 (4) 今年度の園公開参加者数は、新規が多かった。園のアピールの仕方をさらに工夫していく。  
 (5) 普段の活動を見ていただく自由参観日は、子どもの成長過程を伝えるために有効。継続していく。  
 (6) 5月～7月は土曜日がない状況。行事の精選、工夫をして多忙さを解消していく。